

岩手で考えるこれからの農家住宅とは

Report Number

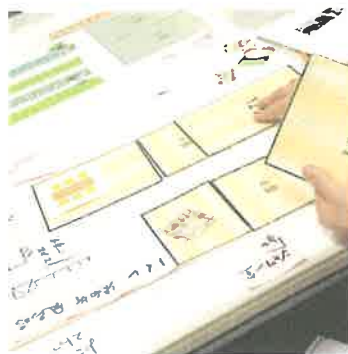
5

岩手県

栗石町



岩手山を望む美しい自然のなかで農的暮らしができる、岩手県栗石町のコテージむら。ここで、岩手ならではの特性を生かした暮らしたくなる農家住宅を提案するプロジェクトが進行中。魅力的なアイデア満載の第2回目をレポート！



(左) 検討委員の面々と、ゲストの浄法寺添産業・松沢卓生さん。松沢さんは自動車や文房具など、漆の新たな活用の提案をしている(中央)平面図はパーツの用紙を切り貼りして作成(右)約2時間かけて平面図を完成させた

岩手の冬は、白銀の世界だ。厳しい寒さのなか、雪原から眺める岩手山は、ひととき美しく胸を打つ。そんな岩手県栗石町南畑地区コテージむらに舞台に、これからの時代の農家住宅を考え、提案するプロジェクト「これからの農家住宅提案検討委員会」。第1回目の検討会では、地元の若手農家や建築士、地域づくりの専門家たちが、自由な発想でアイデアを出し合った。そして今回は、より具体的な住宅像を平面図化した。

メンバーは、専業農家や大規模な農家を想定した「がつつり農業班」と、兼業や自給、新規就農など小規模な農家を想定した「コンパクトな暮らし班」に分かれて話し合った。優れた提案が次々と出たなかで、とくに膝を打ったのが、後者が提案した。シェアする暮らしだ。初期投資を最小限におさえられるよう、個別の家は小屋のようにコンパクトでシンプル。共有の畑やワークスペース、納屋、機械があり、例えばコミュニティで栽培した麦でビールを製造販売し、運営費にあてるなど、ビジネスも企画。これは、近所づきあいが希薄になった現代の課題解決にもつながる。移住者の多いコテージむらにふさわしい、まさに新しい暮らし方だ。

今回は、いよいよ最終回。総まとめに向けて建築士のメンバーが提案を設計図に落とし込む。コテージむらにどんな農家住宅が誕生するのか、おおいに期待したい。

岩手の冬は、白銀の世界だ。厳しい寒さのなか、雪原から眺める岩手山は、ひととき美しく胸を打つ。そんな岩手県栗石町南畑地区コテージむらに舞台に、これからの時代の農家住宅を考え、提案するプロジェクト「これからの農家住宅提案検討委員会」。第1回目の検討会では、地元の若手農家や建築士、地域づくりの専門家たちが、自由な発想でアイデアを出し合った。そして今回は、より具体的な住宅像を平面図化した。

メンバーは、専業農家や大規模な農家を想定した「がつつり農業班」と、兼業や自給、新規就農など小規模な農家を想定した「コンパクトな暮らし班」に分かれて話し合った。優れた提案が次々と出たなかで、とくに膝を打ったのが、後者が提案した。シェアする暮らしだ。初期投資を最小限におさえられるよう、個別の家は小屋のようにコンパクトでシンプル。共有の畑やワークスペース、納屋、機械があり、例えばコミュニティで栽培した麦でビールを製造販売し、運営費にあてるなど、ビジネスも企画。これは、近所づきあいが希薄になった現代の課題解決にもつながる。移住者の多いコテージむらにふさわしい、まさに新しい暮らし方だ。

今回は、いよいよ最終回。総まとめに向けて建築士のメンバーが提案を設計図に落とし込む。コテージむらにどんな農家住宅が誕生するのか、おおいに期待したい。

コテージむらとは…

コテージむらは、「農的な暮らし」を楽しみたい人などのために、「岩手県農業公社」が「宅地付き農地」として販売している一団の土地。住民は、県外からの移住者が多く、岩手山を望む絶景の中、野菜やハーブ栽培など思い通りの農業を行いながら、広い土地を活かして動物を飼ったり、周辺の施設で様々なスポーツをしたりして暮らしている。 現地案内可(要事前連絡)



コテージむら	日時	平成30年3月24日(土) 17:30~20:00(定員30人)
移住セミナー & 相談会	場所	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会8F ふるさと回帰支援センター セミナーコーナーA
(岩手県農業公社主催)	内容	栗石町・コテージむらの紹介、移住者の農的暮らしの話、町の移住支援策、個別相談など ※参加者プレゼントあり(県産米「金色の風・銀河のしずく」各3合)

コテージむら・セミナーに関するお問い合わせ

公益社団法人岩手県農業公社総務部 総務課 ☎019-651-2181 ✉cottage@i-agri.or.jp
<http://www.i-agri.or.jp> ※最新情報は南畑地域協議会のフェイスブックを参照

農家住宅に関するお問い合わせ

NPO法人しずくしいきいき暮らしネットワーク ☎019-695-2306 ✉shizuku-ikiikinpo@sunny.ocn.ne.jp
 岩手県農業振興課 農用地計画・交流担当 ☎019-629-5645 ✉AF00D4@pref.iwate.jp